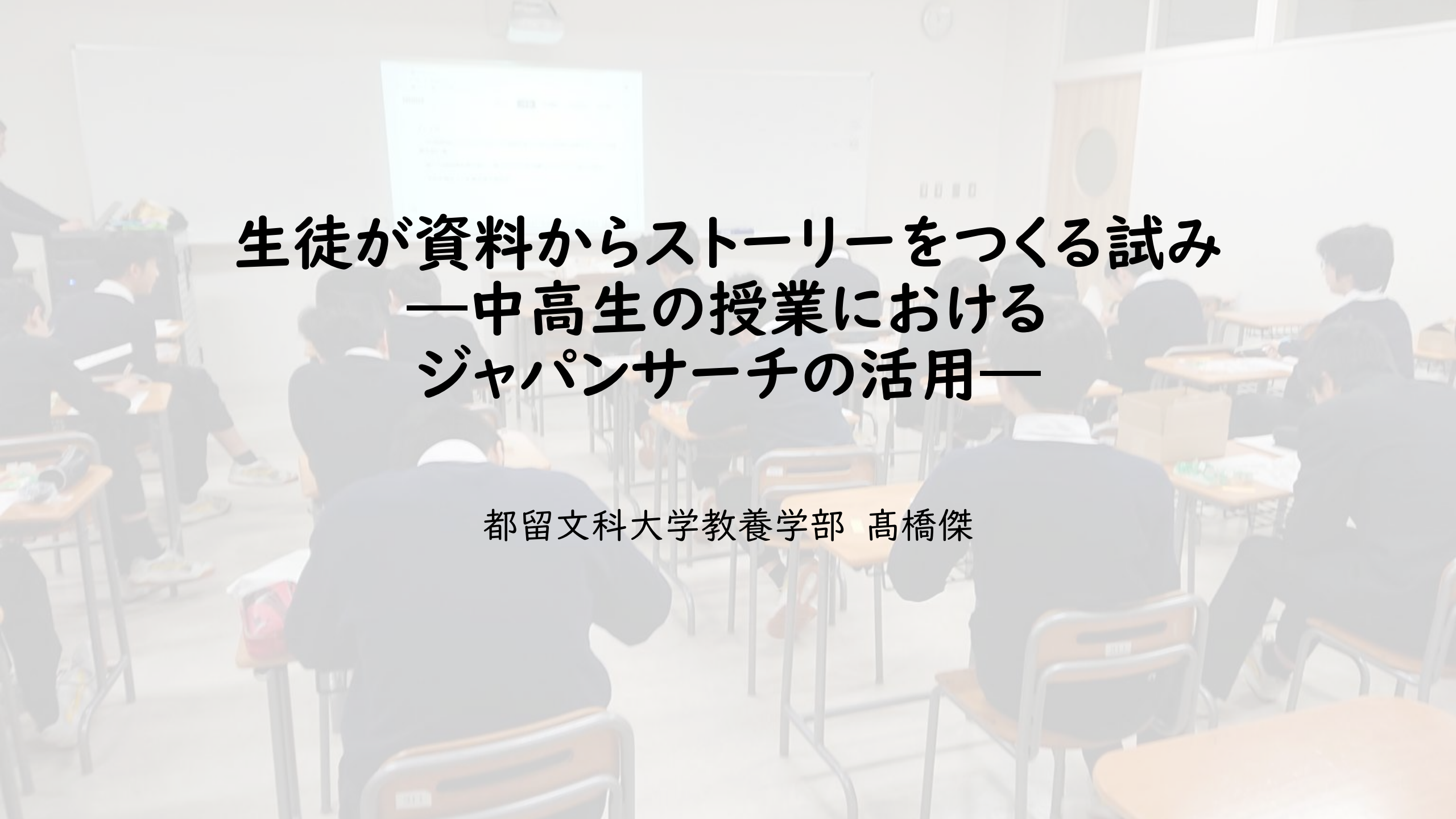




生徒が資料からストーリーをつくる試み —中高生の授業における ジャパンサーチの活用—

都留文科大学教養学部 高橋傑

本実践の目的

本実践の目的は、様々な歴史の記述は資料に基づいて書かれている、ということを生徒に理解してもらうことです。

教科書は、字数の制限上様々な説明が足りなくなってしまった部分があります。これを批判的に読むことを通じて、歴史には教科書が語り尽くせない様々なストーリーがあることを実感した上で、自らがストーリーを作る側にまわる経験をし、その事の難しさと大切さを理解してもらうことを目指しています。

そして、これをきっかけに、日本には様々な文化財があり、それを保全するために多くの努力が払われ、捉え方次第では身近なところにもたくさん文化財が存在していることを、知ってもらえれば、という思いです。

それぞれの学年における実践の目的

- 中学1年生

中学受験で歴史を暗記することになった生徒に、歴史叙述は「資料」から形作られるストーリーであって、決して自明のものではない、という感覚を養ってもらうことが目的。

- 中学3年生

自らが歴史の叙述者となる練習段階として、資料批判を行い、資料から読み取り、資料を並べてストーリーを作る練習をすることが目的。

- 高校3年生

多くの生徒にとって、歴史の授業を受ける最後の機会となるため、歴史学という学問が、どのような営みによって歴史叙述を行っていくのかを体験し、歴史学に理解を示してもらうことが目的。

授業におけるジャパンサーチの使い方

ジャパンサーチには、好きな資料を選んで並べ、それを様々なツール（テキストボックスや年表など）を使って説明できる、キュレーション機能があります。それを生徒間で共有することでWeb上で展示会を開くことができるのです。

本実践では、全員共通で使う資料等は提示せず、生徒各自がデジタルアーカイブを使って自由に資料を検索する設計にしましたが、共通の資料を使うということはありません。状況や目的に応じて「江戸時代の文化を紹介しよう」等といったようにテーマや活動を設定してもよいかもしれません。

学習の展開①

本実践の全体の流れは以下の通りです。

- ① ジャパンサーチをつかって展示品を選定し（検索して♡ボタンをクリックすることで、「マイノート」に保存することができます）、マイノートに保存する。
- ② 「マイギャラリー」に「マイノート」をインポートする。
- ③ 集めた資料を、自分が考えるテーマにそった形で展示品として並べかえる。
- ④ 「マイギャラリー」の様々な資料整理ツール（テキストボックス・地図・年表など）を使って、展示のストーリーを作り上げる。

学習の展開②

⑤「マイギャラリー」上で、展示の構成を以下の様に整える。

1 館長あいさつ(テキスト)

→なぜこの展示を行ったのかなど、自分自身の想いを書く。

2 この展示について(展示の趣旨・概要)(テキスト)

→具体的な展示のストーリーを語る。

学習の展開③

3 展示

展示品1(+館長からの一言)

→館長からの一言は、この文化財はどのようなものなのか、そして、なぜこの文化財を選んだのか、ということを記入する。

展示品2(+館長からの一言)

展示品3(+館長からの一言)

展示品4(+館長からの一言)

展示品5(+館長からの一言)

学習の展開④

- 4 展示を見終わった人へのメッセージ(テキスト)
→改めて、展示を見終わった人に、自分からのメッセージを伝える。
- 5 展示関連イベントについて(テキスト)
→この展示が実際にあったらどのような関連イベントが考えられるか、自由に考える。

学習の展開⑤

- ⑥ワークスペース」に新しいギャラリーを作り、そこに制作した「マイギャラリー」をインポートする。
- ⑦同級生の博物館を見て回り、感想を提出する。

本実践には、3時間使いました。おおよそ最初の1時間目でジャパンサーチの検索に慣れて自分なりのテーマを見つけ、2時間目・3時間でギャラリーを作り込んでいく、という展開です。お互いの博物館を見て感想を書く活動は、授業内ではなく課題という形をとりました。

技術的な困難を抱え、自分の表現したいことができない生徒向けには、昼休みにヘルプデスクを開いて対応しました。また、授業webサイトを作って、手順を各自で確認できるようにしました。

授業webサイト

1年社会Ⅱ（高橋）

ホーム ▾ 🔍



JAPAN SEARCH

ジャパンサーチ

まずは、ジャパンサーチを使ってみましょう。

webサイトを開いて、検索窓（タブレットだと、右上の虫眼鏡をクリックすると、検索窓が現れます。）に、自分の興味関心にそった単語を入力してみましょう。すると、様々な文化財が現れるはずです。そして、気に入ったものがあったら、説明を見てみましょう。

例えば、「江戸幕府 将軍」と入力すると、314件ヒットします。右のように一枚のもの、一つのものであったり、冊子であったりします。それぞれをクリックすると説明を読むことができ、さらにその文化財の収録元のデータベースも開くことができます（実はジャパンサーチは様々なデータベースを串刺し検索できるwebサイトなのです）。

とりあえず気になる文化財は、♡マークをクリックしてください。どんどんためていきましょう。ここでクリックした作品は、右上のマイページで一覧になっていきます。

展示品は最低5つ以上選んでいきます。5つを目指すのではなくて、とりあえず気になるものは全部チェックしましょう。まずはたくさん選んで、あとから削除するほうがよいでしょう。

冊子を展示するときは、展示したいページを表示した状態で♡マークをクリックすると、そのページを展示することができます。

ちなみに、この♡マークのデータは、ブラウザのキャッシュに保存されています。スマホのchromeで見ていた場合、そのスマホのchromeのみに保存されます。これをタブレットやPCにうつす方法は後で説明しますが、データのあり方として覚えておいてください。



授業webサイト

1年社会Ⅱ（高橋）

ホーム ▾ 🔍

Q&A

マイノート・マイギャラリーのデータを他のブラウザに移動させたい場合

- ①マイノート・マイギャラリーの右上の...を選び、エクスポートでJSONファイルを選択する。
 - ②使いたいブラウザで、ジャパンサーチを開く。
 - ③マイノート・マイギャラリーの右上の...を選び、インポートで先ほど保存したJSONファイルを選択する。
- ※JSONファイルがあれば、そのブラウザ、どのデバイスでもマイノート・マイギャラリーのデータを開くことができます。

今自分が編集しているのが、マイノートなのかギャラリーなのか確認する方法

画面の左上の文字が「トッパーマイノート」となっていれば、マイノートを編集しています。

ギャラリーに複数アップロードしてしまった場合

ジャパンサーチの博物館名は、かならず

タイトル+（学年クラス番号名前）

という形で入力してください。



作品のギャラリー



特徴的で似ている異形石器



正倉院

館長挨拶 こんにちは館長です。学校の授業で天平文化について学んでいるので、その中でも代表的な正倉院のことを取り上げているのでぜひ見ていっ



さらば、13代目足利義輝 永禄の変

館長からの一言 幕町から戦国に変わる大きな契機となった事件です。ぜひご覧ください。



法隆寺について

聖徳太子が作った法隆寺について調べました。



日本刀

日本が誇る日本刀。昔は人を斬ったり刺したりしていましたが、今は主に観賞用の大事な芸術品として大切に扱われています。その日本刀の興味深さを、



日本とフランシスコ・ザビエルの



富士山の魅力



年代別に見る祝詞関連遺産(非公式)



日本地図の移り変わり

時代ごとの日本地図の変化



縄文土器

みなさんこんにちはこのギャラリーでは自分が夢に入った縄文の縄文土器を



学習の評価

評価にはルーブリックを利用しました。

すべての展示要素が含まれているか評価します。

すべてそろっている	1つ足りない	2つ足りない	3つ上足りない
-----------	--------	--------	---------

②展示のテーマに展示品はあっているか

展示のテーマに沿って、展示品が適切に並んでいるかどうか、展示のストーリーを感じられるかどうか評価します。

あっている	やや不十分	あまりあっていない	全くあっていない
-------	-------	-----------	----------

すべての要素が揃っていて、テーマに沿った展示品が、適切な順番で並び、ストーリーが感じられる。	テーマに沿った展示品が並んでいる。	展示してある展示品がなぜ選ばれたのか、ややわかりにくい。	なぜこの展示品が選ばれたのか、わからない。
--	-------------------	------------------------------	-----------------------

③展示品の説明がしっかりなされているか

展示品の説明について、[館長の一言]が、出展を示した文章でしっかりとなされているか評価します。

とてもよくできている	よくできている	ふつう	やや不十分
------------	---------	-----	-------

[館長の一言]で始まる文章が、出典情報が明記された上で、とても説得的に書かれている。	[館長の一言]で始まる文章が、説得的に書かれている。	[館長の一言]で始まる文章が、やや説得的に書かれている。	[館長の一言]の説明がやや不十分。
--	----------------------------	------------------------------	-------------------

不十分

説明文が付いていない。

④見せる工夫はなされているか

マイノットの様々なツールを使って、見せる工夫がなされているかどうか、評価します。

工夫されている	ふつう	やや工夫が足りない	全くふうされていない
---------	-----	-----------	------------

すべての展示品に、マイノットを使った工夫がほどこされていて、それが効果的に使われている。	いくつかの展示品にマイノットを使った工夫がほどこされ、それが効果的に使われている。	1つだけ、展示品にマイノットを使った工夫がほどこされ、それが効果的に使われている。	全くツールが使われていない。
--	---	---	----------------

⑤同級生からの評価はどうだったか

同級生からの評価をどの程度集めたかで評価します。

評価されている	そろそろ評価されている	あまり評価されていない	評価されていない
---------	-------------	-------------	----------

本実践の成果

成果としては、本当に自由に、様々なテーマで取り組んでくれた、ということが、まず挙げられます。自由度が高い課題は、時に生徒を困惑させ、「何をしたらよいかわからない」、という気持ちにさせてしまうものですが、ジャパンサーチを使うことによって、デジタルアーカイブと対話しながらテーマを探す、という形ができたのではないかと思います。

ジャパンサーチは、検索エンジンのように、先回りして検索結果を示してくれるわけではありません。生徒達は、「こういうキーワードではどうか」「こうしたらうまくいった」「全然出てこない」など、様々な経験をしました。

この課題の中で検索を練習する段階は設けましたし、生徒の作業中、私は絶えず机間巡視をして、生徒がどこでつまづいているのかを把握するよう努めました。

本実践の課題

課題としては、ジャパンサーチ上で、マイノート、マイギャラリー、ワークスペースとデータを移行させる過程が、生徒にとって難しかったということです。手順はwebページを自作して示し、机間巡視の際にもできる限りサポートしましたが、友人間のアドバイスでなんとか解決した事例が多かったようです。

生徒からは、このデータ移行の流れを説明した動画を、教員が作成して欲しかったというシステム改善の要望が寄せられました。

また、体裁を整えることも難しかったようです。私が意図を十分に伝えきれなかったところですが、自由に考えてほしかった関連イベントについては、本当に存在するイベントを頑張って調べている生徒が何人もいました。

生徒の感想（中学1年生）

- 今回の授業は自分の好きなことについて詳しくまとめられたので面白かったです。それぞれで分担箇所を決めた後に繋げて、歴史の教科書のようにするのも面白そうです。
- 今回の授業の良いところは、自分の好きな分野について再確認できたところです。僕は受験勉強をする中で、初めは苦手だった昭和史や戦争について興味を持つようになりました。その中で、今回の授業によって様々なことを調べ、資料（塾の時に配られた歴史図表など）を見たことで自分の中の少し曖昧だったところがはっきりとしてわかりました。逆に悪いところは、意外とみんなは歴史に興味を持っていないのかなというところです。今回の授業は好きなところを調べれば良いのですが、結構の人が典型的な織田信長などを調べている人が多かったです。多分その人たちは「宿題」を終わらせるためにやっていたのだと思います。個人的にはもう少し歴史に興味を持てるようにした方がいいと思いました。

生徒の感想（中学1年生）

- 興味はあったけれど、調べる物などについて自分が展示を作るときや他人の展示を見るときに知ることができた。調べてもうまういかなかったり、仕様がよくわからないものがあり、次使うときはもっと知りたいと思った。
- 追記高望みかもしれませんが、全部を見ることはできないので、ワークスペースの一覧の状態でジャンルごとや時代ごとにまとめてくれていたらどのような展示があるかをすぐ知れて興味がある展示をたくさん見れることができたと思うのでやってくれたら嬉しかったです。

生徒の感想（中学１年生）

- 良いところ:みんなの好きなテーマで自分たちの博物館を作るのは、貴重な経験となり、自分たちが知っていた知識をさらに高めることができた。また、このような、他の同級生の博物館を評価することで、自分が知らなかった知識を得ることができる(周りからの評価を知ることによって自分に自信を持つことができる)。
- 悪いところ:『１年社会II 自分の博物館をつくろう(1)～(3)』のwebサイトを見るだけでは、疑問点が多く、作るのに時間がかかった。インポート・エクスポートなど、一年生の人は大半はその言葉の意味を知らない。なので、webサイトを見ても、何をすればいいのかわからなかった。

生徒の感想（中学1年生）

- 個人的になかなか面白い授業だった。自分の好きなことの歴史や史料を見てそれを相手に伝えるために様々な工夫を凝らして「博物館」という形で公開する。作っていて楽しかったし、他の人がどんなものを作っているのかを見てまとめる力を養ったり単純に楽しんだりできるのは良かった。しかし作る過程で何をどうすればファイルに移せるのかや、学年ギャラリーにどうやって移せるかなど後々気づいた問題点が多かったような気がする。実際LINEなどで友達に「どうすればいいの？」などといったことが多くあったためどうすれば良いか簡単でもいいので動画や詳しい説明が欲しかった。。

生徒の感想（中学１年生）

- 単語を入れたら、それに関する様々な資料が出てくるところが面白かった。知らない資料が出てきたり、予想とは違う資料が出て来たりして扱いに慣れるのに少し時間がかかった。他の人のも見ることによって「こういう見方もできるんだ」や「こういうのがあるんだ」など学びが深まってよかった。でも、著作権の物を使っている人もいて、危ないなと思った。でもそういうのも含めて学んだなと思った。これを、レポートなどに活かしていきたい。

生徒の感想（中学１年生）

- みんながそれぞれの調べたいことを資料をまとめて博物館のようにするのはよいと思うが、人によって資料に「こういうことが起きました」というようなことしか書いていなくて、結局何が伝えたいのかわからないものがあつたのはあまりよくないと思った。
- テーマが全く限定されていないのでテーマ探しが少し難しかった。一方で人それぞれ特徴のある展示をしていたため、読んでいてとても面白かったり、知らなかったものが載っていることもあって良かった。僕も自分の博物館を作成している際もこれまであまり知らなかった奥州での戦いと源平合戦の関連性などについて学び、覚えることができた。そのため、この博物館の授業は皆の知識だけでなく、調べ物をする力などを底上げすることができる非常に良い授業だと思った。

生徒の感想（中学1年生）

- 自分が興味を持っているところをさらに調べて、人に伝えようとすることで、さらにテーマに対して愛着、興味が湧いたり、新しいことを知れたり自分にとって新たな発見が多かった。また、展示品である画像や年表、文章をどう配置すれば「見たい!」という心にさせるかということを考える難しさに気づくことができた。結果的に満足いく配置ができたので嬉しかった。
- 今回の授業では、ジャパンサーチを活用して作品を調べ、実際に博物館へ行かなくても、さまざまな作品を比較しながら見ることができ、とても便利だと感じました。拡大して細かい部分まで観察できる点も、作品理解を深める助けになりました。また自分で検索し、必要な情報を選び取る力も身についたと思います。デジタル資料を活用することで、ものすごく集中できた授業でした。ありがとうございました。

おわりに

デジタルアーカイブスの教育活用によって、生徒は自らが歴史叙述の主体となる機会を得ます。そして、その機会には資料批判の目を養うことにつながります。

このことは、生成AIによって得る情報の真偽を見極める「勘」を身に付けることにもつながるでしょう。

確かな情報を得るためには、自分なりの問題意識と、それなりの努力が必要であることを、この実践を通じて感じてほしいと思いました。